

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	障害福祉サービス等報酬改定影響検証事業			担当部局庁	厚生労働省障害保健福祉部			作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	平成28年度	担当課室	障害福祉課			田中 佐智子		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成27年度障害福祉サービス等報酬改定の影響について調査・分析することにより、次期報酬改定(平成30年度)の検討における基礎資料を得ることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	次期報酬改定(平成30年度)の検討における基礎資料として、各事業所におけるサービス提供の実態や職員の処遇状況等を調査・分析する。 ①障害福祉サービス等報酬改定検証調査 ②障害福祉サービス等従事者処遇状況等調査									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	48	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	95	108	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	95	108				
		予備費等	-	▲ 95	▲ 108	-				
		計	-	-	-	-				
	執行額	48	0	95	108	0				
	執行率 (%)	100%	-	100%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
	-	-	目標値	-	-	-	-	-		
	-	-	達成度	%	-	-	-	-		
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績						
	本事業については、実態把握や効果検証を行うことを目的としており、成果実績を定量的に評価するものではない。			調査の対象となる障害福祉サービス等を実施する事業所等について、平成27年度障害福祉サービス等報酬改定の影響を調査し、次期報酬改定の議論に資するための基礎資料を得ることができた。						
	代替目標	代替指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度		
	① 調査の実施にあたり、 調査対象施設・事業所の協 力を得る。	調査票回収率	実績	%	-	-	71.9	-	-	
			目標値	%	-	-	70	-	70	
			達成度	%	-	-	102.7	-	-	
	代替目標	代替指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度		
	② 調査の実施にあたり、 調査対象施設・事業所の協 力を得る。	調査票回収率	実績	%	66.7	-	67.7	-	-	
			目標値	%	70	-	70	-	70	
			達成度	%	95.3	-	96.7	-	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	① 調査対象事業所数	活動実績	箇所	-	-	12,765	-			
		当初見込み	箇所	-	-	-	12,000			

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	活動実績	当初見込み						
② 調査対象事業所数	活動実績		箇所	17,743	-	17,311	-	
	当初見込み		箇所	-	-	-	17,000	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	①単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「調査対象事業所数」 ※執行額には、調査票の未回収の施設・事業所に係る印刷・配布の費用も含まれているため、必ずしも正確な1施設・事業所当たりの調査に係る費用となっていない。	単位当たりコスト						円
			計算式	X/Y	-	-	80000000/12,765	精査中

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	②単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「調査対象事業所数」 ※執行額には、調査票の未回収の施設・事業所に係る印刷・配布の費用も含まれているため、必ずしも正確な1施設・事業所当たりの調査に係る費用となっていない。	単位当たりコスト						円
			計算式	X/Y	48000000/17,743	-	15000000/17,311	精査中

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由			
	保健福祉調査委託費	0					
	計	0	0				

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	必要な保健福祉サービスが的確に提供される体制を整備し、障害者の地域における生活を支援すること								
	施策	障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること								
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
									-	年度
			実績値	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
障害福祉サービス等報酬改定の影響等について調査・分析し、次期報酬改定の検討における基礎資料を得ることにより、障害福祉サービスの提供実態等の客観的、具体的なデータに基づいた報酬改定を行い、障害者の地域における生活の支援等に寄与することを見込んでいる。										

改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
					-			年度	-
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
					-			年度	-
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	障害福祉サービス等に係る報酬については、その費用の大部分が国民の税金により賄われていることを踏まえると、国民の理解が得られるよう、報酬改定の影響を検証することが求められるため、本調査の優先度は高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本調査については、3年に1度を基本に実施される、障害福祉サービス等報酬改定の議論のための基礎資料とすることとしていることから、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	次期報酬改定の検討を行う上で、前回改定の検証を行うことは必要不可欠であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	委託先の選定方法については、①については、随意契約(企画競争)②については一般競争入札(総合評価落札方式)で行っており競争性が確保されている。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	過去の実績(平成25年度)と比較しても単位当たりコストは低く抑えられている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	第三者に委託する場合の採択契約金額の割合は原則1/2未満となっており、合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	調査実施のためのデータ処理、集計・分析に対する委託経費などが大部分を占めており、必要経費に限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の実施に当たっては、一般競争入札(総合評価落札方式)等により委託先を決めており、より効果的で低コストの手段・方法等により実施している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業の実施に当たっては、一般競争入札(総合評価落札方式)等により委託先を決めており、より効果的で低コストの手段・方法等により実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	報酬改定の議論に大きく影響する調査事業として、見込みに見合った実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	次期報酬改定のための基礎資料として、今後活用する予定である。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本調査については、3年に1度を基本とする障害福祉サービス等の報酬改定の議論のための基礎資料とすることとしていることから、国が実施すべき必須事業であるとともに、本調査の優先度は依然として高く、事業継続が必要と考える。	
	改善の方向性	次回調査を実施する際は①については随意契約(企画競争)から一般競争入札(総合評価落札方式)に移行する予定であり、②については引き続き一般競争入札(総合評価落札方式)により委託先を選定し、これまでの経験を踏まえ、コストの削減、回収率の向上等をさらに推進していく。	

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	437	平成24年度	新24-0038	/
平成25年度	788	平成26年度	783	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【①障害福祉サービス等報酬改定検証調査】

厚生労働省

【委託〔随意契約(企画競争)〕】

A みずほ情報総研株式会社
80百万円

調査実施及び集計分析。

【随意契約(その他)・請】

B 株式会社ケア
ンドエフ・オフィス
5百万円

上記調査の遂行にあたり、調査関係書類一式の印刷及び発送作業を実施。

【随意契約(その他)・請】

C システムズ・デザイン株式会社
3.1百万円

上記調査の遂行にあたり、回収された調査票のデータ入力作業を実施。

【随意契約(その他)・請】

D 株式会社ゴーガ
2百万円

上記調査の遂行にあたり、Webサイト作成及び管理運営作業を実施。

【②障害福祉サービス等処遇状況等調査】

厚生労働省

【総合評価入札】

E 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
15百万円

調査実施及び集計分析。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.みずほ情報総研株式会社			B.株式会社ケイアンドエフ・オフィス		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	調査担当者の賃金	37	役務費	調査票等一斉発送作業費	5
	雑役務費	データチェック・集計表作成等	18			
	その他	一般管理費・消費税	10			
	委託料	調査票等一斉発送作業費・データ入力作業 費・Webサイト作成及び管理運営作業費・質 疑対応作業	6			
	印刷製本費	調査票等印刷費	5			
	通信運搬費	調査票等発送	4			
	計		80	計		5
	C.システムズ・デザイン株式会社			D.株式会社ゴーガ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
役務費	データ入力作業費	3.1	役務費	Webサイト作成及び管理運営作業費	2	
計		3.1	計		2	
E.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社			F.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
業務費	賃金、旅費、通信運搬費、印刷製本費	8.4				
人件費	調査担当者の賃金	4.2				
その他	一般管理費・消費税	2.4				
計		15	計		0	

支出先上位10者リスト

A.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	みずほ情報総研株 式会社	9010001027685	調査実施及び集計分析	80	随意契約 (企画競争)	2	100%	-
B.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ケイアンド エフ・オフィス	9010501019190	調査票等一斉発送作業	5	随意契約 (その他)	-	62.5%	-
C.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	システムズ・デザイン 株式会社	7011301012643	データ入力作業	3.1	随意契約 (その他)	-	38.8%	-
D.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ゴーガ	4010401061594	Webサイト作成及び管理運 営	2	随意契約 (その他)	-	25%	-
E.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱UFJリサーチ& コンサルティング株 式会社	3010401011971	調査実施及び集計分析	15	総合評価入札	2	30%	-

